

## 第45回 NPO 研究会の報告

### 「複眼的」協働論を披露



日 時：2007年9月29日（土）午後4時30分～

場 所：ウイズもとまち3F 小会議室

テーマ：NPOとの協働は進んでいるか、何が問題か？

話題提供：松下 啓一氏

第45回 NPO 研究会は9月29日（土）午後4時30分より、松下啓一氏を講師にお招きし、ウイズもとまちにおいて開催しました。研究会では松下氏より、協働を妨げるものの一つに、市民には公のものは行政が行うという意識があり、その意識を変えていかなければいけないし、意識を変えるような仕組みが必要ではないかと問題提起がなされました。

その後参加者から、はたして市民の意識を変えることはできるのか、委託事業について、NPOと町内会の関係についてなど活発な意見が出され、それに松下氏が答えていくといった形で会は進められていきました。松下氏は公務員をなさっていた経験から、行政の立場での考え等も交えてお話しされ、NPOと行政の協働について、行政とNPO両方の立場からの話しをお聞きすることができました。

（記 角田佐知子）